

市議会議員
かけのまち子
電話/Fax 53-7727
kakenom@xj.commufa.jp



市議会議員
みわ 陽子
電話/Fax 54-6712
yokko0520mi@yahoo.co.jp



NO449 2020.2.7
日本共産党江南市委員会

あすの江南

前市議 森ケイ子 電話/Fax 57-2753
前市議 東よしき 電話/Fax 54-7977

* 困り事は早めにお気軽にご相談ください

日本共産党江南市議員団 HP

検索

国保税

平均9%もの値上げを提案

一般会計からの繰り入れ継続し、暮らし守れ

江南市は2020年度の国民健康保険税を1人平均9.15%も大幅に値上げしようとしています。

1月29日に開催された議会の全員協議会で報告がありました。値上げの税率改定案は、2月25日開会の3月定例会に提案される予定です。

安倍政権が進めた県単位化が国保税大幅値上げの元凶

国民健康保険は、2018年度から県単位の財政運営に変更されてしまいました。県は、江南市の判断で決めていた国保税率を、県が示す標準保険税率（現在よりもずっと高い。右表下）に合わせるよう求めています。江南市は県に従い、市が独自に一般会計から繰り入れて国保税の負担軽減に充ててきた額（2億8230万円）を徐々に全廃する年次計画をつくり、標準保険税率めざして2年ごとに連続値上げを行っていく方針です。

また、固定資産税額に応じて賦課する資産割を2020年度から全廃する予定です。来年度の国保税率は、これらの要素に加えて基金からの繰入額の減少も重なり、1人平均約9%もの値上げ案となってしまいました。

資産割全廃の影響で、加入世帯のうち81.7%、10,208世帯で値上げ。17.3%が値下げとなる計算です。（1%は変化なし）

消費税増税で大打撃の中小零細業者の滞納が増える恐れ

もっとも心配なのは、消費税増税で大打撃を受けている市内の中小零細業者です。市のモデルケース（営業所得250万円、世帯主45歳、妻38歳、子ども2人の4人世帯）では、固定資産がない場合、国保税額は2019年度32万9100円から2020年度は5万6000円も高い38万5100円（値上げ率17.02%）にもなり、営業と生活を圧迫することは必至です。

払いたくても高すぎて払えず、いまでも滞納があいつぐ国保税

2019年度⇒2020年度(案)の国保税率変化

	医療分		支援分		介護分	
	2019年度	2020年度	2019年度	2020年度	2019年度	2020年度
所得割	5.20%	6.24%	1.83%	2.24%	1.55%	1.72%
資産割	12.50%	0%	4.00%	0%	2.00%	0%
均等割	19,600円	22,800円	6,000円	7,400円	9,000円	9,600円
平等割	19,000円	20,400円	5,600円	6,400円	7,000円	6,600円



県の示す標準保険税率

	医療分	支援分	介護分
所得割	6.48%	2.32%	1.96%
均等割	26,557円	9,352円	10,105円
平等割	18,514円	6,520円	5,140円

で、さらに滞納が増えるのは目に見えています。中小業者支援の意味からも一般会計繰入金を増やして国保税の大幅値上げを止め、低所得世帯への独自減免制度を拡充するべきです。

今こそ子どもの均等割（1人3万円も）減免を

国保税をこんなに過酷なものにしている要因の一つが、1人あたり・1世帯あたりに賦課する人頭税のような均等割・平等割。サラリーマンの健康保険にはない国保税だけの特異な賦課の仕組みです。江南市の2020年度（予定）税率では、均等割は40歳未満で30,200円にも。

赤ちゃんが生まれると、誕生祝どころか30,200円も国保税を上げる、罰金を科すに等しい仕組みです。子育て支援に逆行する非情な制度は、全国知事会も市長会も国の負担で廃止するよう強く求めています。

日本共産党江南市議員団は、国に制度実施を要求するとともに、それまでの間は交付金も活用し市で子どもの均等割を減免するよう求めています。

75歳以上の後期高齢者医療も10%値上げ!

2020年度は、2年ごとに改定を行ってきた後期高齢者医療保険料の見直しの年です。2月7日開催の愛知県後期高齢者医療広域連合議会に保険料を約10%も大幅に値上げする案（下表）が提案されます。

高齢者への重い負担押し付けに日本共産党議員は反対してがんばります

	2018,19年度	2020,21年度	差
1人当たり保険料額	83,781円	92,191円	8,410円
均等割額	45,379円	48,765円	
所得割額	8.76%	9.64%	
賦課限度額	62万円	64万円	

女性議会：市主催セレモニーの限界か

2月1日に開かれた市主催「女性議会」。江南市が男女共同参画都市を宣言してから10周年を記念するイベントでしたが、傍聴した市民から「期待はずれ」「質問内容に強い違和感を持った」などの率直な感想が寄せられています。

女性ならではの質問項目も見受けられましたが、市側に付度してか批判的論調は影を潜め、突っ込み不足が目立ちました。市主催の「女性議会」の限界でしょうか。本当の女性議員の議席をもっと増やす必要があります。